

# 融資・債券分科会 活動状況

## 分科会（原則、第三木曜日の13：00－14：00）

- －2月15日 豊田合成フレームワーク（PIF原則）事例/その他議論したいことなど  
⇒ZOOMブレイクアウトルーム活用、4チーム（銀行・投資家で各2チーム）分け
- －3月14日 宣言だからこそ、できること/コンソシアム 課題共有・政策提言
- －4月18日 中期計画・2024年計画の確定/エーザイ株式会社 SLL事例紹介

## コアチームメンバー会議 座長メンバー3名+銀行・投資家・認証機関6名

- －2月1日/3月1日/4月4日に開催（原則、第一木曜日の13：00－14：00）

## 今後 分科会（5月23日、6月13日リアル開催）

# 融資・債券分科会 中期計画

✓ デットIMMガイドラインの議論を引き継ぎ、融資・債券市場の拡大と同バリューチェーンにおけるIMM高度化を展望

## Goal 目指したい目標

署名金融機関が、各自、規範あるIMMを実践することで、融資・債券の引受・投資ならびにエンゲージメントを通じ、インパクト志向経営を行う事業者を支援している。デットファイナンスを通じ、収益と明確化した意図する社会・環境効果の継続的な発現に貢献すること

## Mid-term Outcome 中長期アウトカム

融資、債券、夫々におけるIMM・エンゲージメントの課題整理され適切に実践されている署名金融機関と多様で幅広い調達主体のキャパシティビルディングが進んでいる

## Strategic Theme 戦略テーマ

### 足元

✓ IMM・エンゲージメント  
高度化

### 足元

✓ インパクトファイナンス※  
市場拡大

### 中長期

✓ リスク・収益管理への  
インパクトの織り込み

## Action 具体的な活動

- ・理論・実務両面でのIMM・エンゲージメントの改善
- ・デットガイドライン改訂
- ・政策提言(含むインパクトコンソーシアム連携)

- ・事例の海外発信
- ・銀行・証券・投資家のキャパシティビルディング
- ・多様で幅広い主体への裾野拡大

- ・与信判断への織り込み、BSコントロールへの影響調査
- 融資:金融機関
- 債券:アセットオーナー、アセットマネージャーを含む機関投資家

# 融資・債券分科会 2024年計画

デットIMMガイドラインの議論を引継ぎ、署名金融機関と多様で幅広い調達主体のキャパシティビルディングを展望

## Strategic Theme 戦略テーマ

### 足元

- ✓ IMM・エンゲージメント高度化

### 足元

- ✓ インパクトファイナンス※市場拡大

### 中長期

- ✓ リスク・収益管理へのインパクトの織り込み

## Action 具体的な活動

- ・理論・実務両面でのIMM・エンゲージメントの改善
- ・デットガイドライン改訂
- ・政策提言(含むインパクトコンソーシアム連携)

- ・事例の海外発信
- ・銀行・証券・投資家のキャパシティビルディング
- ・多様で幅広い主体への裾野拡大

- ・与信判断への織り込み、BSコントロールへの影響調査
- 融資: 銀行自身
- 債券: アセットオーナー、アセットマネージャーを含む機関投資家

## 2024年施策

- ・理論: 幅広いアセットクラス、プロダクト含めた最新事例研究
- ・実務: 銀行・証券・投資家・事業者各者の実務共有
- ・参入基準議論・政策提言

- ・海外事例紹介(含む主要金融機関やGIINとの議論)
- ・裾野拡大に向けた宣言の他の分科会との連携

- ・インパクトファイナンスの採算性調査
- ・リスク・収益管理とインパクトの関係にかかる先行研究の調査